

萱瀬☆物語

大村市立萱瀬小学校

学校だより 第10号

令和4年8月9日発行 校長 高以良康弘

「やさしく」「かしこく」「たくましく」

平和集会を実施しました

長い夏休みも約半分が過ぎました。久しぶりに子供たちは、笑顔で登校してきました。夏休み前半の出来事を楽しそうに話している子供の様子を見て、充実した夏休みを過ごしていることを感じることができました。

さて、今日8月9日は、長崎に原爆が落とされた日です。原爆投下から77年目の夏を迎えました。本校でも、感染防止対策・暑さ対策のために、オンライン（リモート）で各教室に分かれて「平和集会」を行い、原子爆弾・核兵器の恐ろしさや、戦争は絶対にしてはいけないこと、平和の大切さについて学習しました。子供たちに次のような内容を話しました。

今日までに、みなさんは、原爆や戦争、平和について、担任の先生やお友達とたくさん勉強をしてきましたね。この原爆や戦争、平和について知り、考えることが一番大切なことです。

さて、最初に77年目ということを行いました。実際に原爆を受けた方々は、もうそれだけの年齢になっていらっしゃるということです。もう亡くなられている方も多いと思います。ですから、原爆や戦争の恐ろしさや平和の大切さについては、私たちが未来に語り継いでいかなければなりません。

以前広島で行われた平和祈念式典の中で、小学校6年生の子供が、平和への誓いを発表していました。その中の一説に、

本当の別れは会えなくなるのではなく、忘れてしまうこと。私たちは犠牲になられた方々を決して忘れてはいけないのです。私たちは悲惨な過去を繰り返してはいけないのです。

『人間の手によって作られた核兵器をなくすのに必要なのは、私たち人間の意思です。私たちの未来に、核兵器は必要ありません。

私たちは、互いに認め合う優しい心を持ち続けます。

私たちは、相手の思いに寄り添い、笑顔で暮らせる平和な未来を築きます。

被爆地で育つ私たちは、当時の人々が諦めずつないでくださった希望を未来へとつないでいきます。』という話がありました。

大切なことは、長崎県で育つ私たちも、みんなが、みんなの命を大切に、思いやりの心を持ち、どんな問題が起きたとしても話し合いで解決するなど、みんなで力を合わせて、平和という幸せをつくること。そのことを未来につないでいきましょう。

小さなことでも続けることで、平和の輪は広がっていくと信じています。そして、この萱瀬小学校にも、幸せな毎日が続いていくと思います。



家庭でも、じっくりと平和の大切さや命の尊さについて、お子さんと話していただければ幸いです。

よる9じからは、わたしじかん



便利で楽しいスマホやゲーム ついつい、使いすぎていませんか？
ねむる時間足りていますか？ 集中して家で学習する時間ありますか？
家族と過ごす時間や自分に向き合う時間ありますか？

一人一人が大切な時間をもっています。だから、スマホやゲームを使うのを夜9時までで終わりにしませんか？ もちろん、9時になっても親との連絡や、大事な連絡はOKですよ。

「ながさき基準」知っていますか？ これは、「長崎っ子のためのメディア環境協議会」が提案したもので、青少年のネット・電子メディアの遊びや楽しみとしての利用を夜9時までとすることで、ネット・電子メディアの適切な利用と、青少年の心身の成長・発達への悪影響を減少させることを目的としています。このことは、大村市PTA連合会でも、子どもを守るための共通ルールとして家庭に呼びかけています。夏休み中のお子さんの様子はどうでしょうか。是非、「親子のルール」の中への位置づけをお願いします。



毎月第3日曜日は「**家庭の日**」です。家庭の日とは、家族そろっての団らんの機会を増やすことによって、愛情と信頼に結ばれた温かい家族関係を育てる契機とするための日です。長崎県では、「ココロねっこ運動」の取組の一つとして「家庭の日」を推進しています。家族の時間を大切にしたいですね。

たとえば、こんな「家庭の日」を 家族みんなで話合いやだんらんの時間をもちましょう。



一日一回は、家族全員が集まり、楽しく話合いながら、和やかでうるおいのある生活を送りましょう。子供の話話を最後まで聞いてあげる心のゆとりを持つことが大切です。何でも話せる信頼関係をつくり、子供の発する注意信号を見のがさないようにしましょう。



家族みんなで食事をする機会を持ちましょう。

食事の時間は、ゆっくりと家族がおしゃべりできる大切なひとときです。みんなが顔を合わせると、子供は喜び、食事はさらにおいしくなるでしょう。



家族みんなで協力し合いましょう。

家族で楽しみながら、力を合わせて一つの仕事をやりとげましょう。家事をみんなで分担して、家族が共に助け合いながら生活している意識や責任感を育てましょう。



家族みんなで楽しむ時間を持ちましょう。

家族全員が集まったら、愉快地に過ごしましょう。明るく楽しい茶の間づくりを考えて、笑顔あふれる時間をつくりましょう。

晴れた日には、暑さ対策をしながら、外へ出て、家族で一緒にハイキングやスポーツ、レクリエーションを楽しみましょう。また、家族で音楽を聴いたり、本を読んだり、映画を見たりすばらしいものに感動する心を育てましょう。



家族みんなで地域での行事に参加しましょう。

親子で地域の行事に参加し、地域の方々と交流を深めましょう。子供にとって、いろいろな年齢の友達とつきあうことは、大切な経験となり、社会性が育っていきます。地域においても、親子で参加できる行事を積極的に進めましょう。(新型コロナウイルス感染症の対策・熱中症対策には配慮してください。)

すこやかな成長を願って

子供たちを健やかに育てることは、親の義務であり、私たち大人の責任でもあります。その基盤となるのは、家庭です。家庭が「憩いの場」「教育の場」「明日の力を生み出す場」となるよう、この「家庭の日」運動を進めていきましょう。